

3つの原理

根本原理

1つ、1つ

3つ、3つ / 2つ、1つ

根本原理

理を知り、

理に沿って
生きる。

そのことで幸福
な人生を送るこ
とができる。

1つ、1つ

1つ、1つ

1つ、1つ単純に上に積み上がっていく。
(自然界の真理)

[キーワード]

- ・ 1つ、1つ が 順序の理
- ・ 1つ、1つ が 自然の理

2つの構成法

3つ、3つ

3つ、3つで構成していく。
この構成でリズムカルになり、覚えやすい。
認知の理にもかなっている。

〔キーワード〕

- ・ 3つ、3つ が 認知の理
- ・ 3つ、3つ が 構成の理

2つ、1つ

正・反の2つの構成要素を、
合となる1つの構成要素でまとめる。
この構成で立体感ができ、
パワフルなまとまりとなる。

〔キーワード〕

- ・ 2つ、1つ が 構成の理

いかに構成法を使うか

■構成要素が 4 つ以上の場合

- ① まず、構成要素を 3 つに集約できないかと考える。
- ② 3 つに集約できると、覚えやすく、まとまりがよくなる。
- ③ さらに、正・反→合の形にできると、立体的になりパワフルである。

■構成要素が 2 つの場合

- ① まず、 3 つ目の構成要素がないかと考える。
- ② 次に、正・反→合の形になるような構成要素を導入できないかと考える。
- ③ 正・反→合の形になると立体的になりパワフルである。

事例

〔外界〕を「自然界」と「人間社会」の2要素で構成していたが、構成法の考えに基づき、「歴史空間」を導入し、「2つ、1つ」で構成するように再構成した。

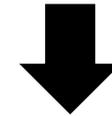
「2つ、1つ」の構成法を使い、〔外界〕を自然界（正）、人間社会（反）→歴史空間（合）で構成すると立体感のある外界モデルができる。

〔外界〕

①自然界

②人間社会

(再構成)



①自然界（正）



③歴史空間（合）

②人間社会（反）

